

# ボランティアガイド

ボランティア活動の多くは自分のことをできる範囲で行うというものが多い。だが、ボランティアによるチラシやポスター制作を行っている「川崎市民団体Coaクラブ」は、未経験者にパソコンを使ったデザイン技術を教える教室も運営している。印刷物制作に不可欠な「イラストレーター」と「フォトショップ」の使い方をまず学び、そのうえでボランティア活動を始めてもらうのだ。川崎市民以外でも自由に参加できる。

## 川崎市民団体Coaクラブ

「ソフトの使い方が分かってても、クリエイティブな仕事に就くためには制作の実績が

不可欠です。Coaクラブで経験を積み、クリエイターとして就職している人もいます。Coaクラブはクリエイター同士の交流の場にもなっていますね」と代表の松田安芸江（あきえ）さん（写真左）は言う。

講師はプロのデザイナーたち。受講料は月額1500円だが、依頼制作やCoaクラブの運営・イベント活動に関わることで貢献ポイントが発生し、さらに安くなる仕組み。現在、大学生から80代までの30〜40人が参加している。

2009年から参加している最高齢86歳の小林通孝さん（同中）は「パソコン自体はウィンドウズ95のころから使っていたけれど、イラストレーターはCoaクラブで覚えました。これまでの自分を超えるには（パソコンでのデザインの学習が）必要だと感じて学び始めました」と語る。すでにイラストレーターを自在に使いこなす腕前で、日本画風のイラストを持ち味にしている。

講師の1人、古殿（ふるど）の童夫さんは「印刷物を作るためには、いろいろな知識が必要です。Coaクラブには、幅広い年代のさまざまな業界の人が集まるので、私自身とても勉強になります」と言う。プロも受講者から大いに刺激を受けているようだ。

前出の松田さんは「印刷物の制作は、単にレイアウトするだけではなく、細かいデザイン技術も必要になります。年齢に関係なく、イラストや絵が好きなら、定年後に始めてもプロ並みになります」と太鼓判を押す。技術取得とボランティア、2つの「生きがい」が得られる場だ。（松本佳代子）

## 2つの生きがい得られる場に

ボランティアを募集している人、興味がある人からの取材希望、ご意見・ご質問を募集します。tup.volunteer@gmail.com までメールをお寄せください。

